

田植時期別の出穂期予測について（令和8年8月3日現在）

令和2年度から、鳥取県産米改良協会では、鳥取県農業試験場の研究成果を活用し、幼穂形成期、出穂期、刈取適期の予測について情報提供を行います。（毎週水曜日更新予定）

出穂期、刈取適期の予測を行いますので、追肥・出穂前後の防除等の作業計画、適期収穫を目指した収穫作業計画の参考として活用してください。

なお、収穫適期予測については、8月上旬から提供予定です。

【情報を活用する上での注意点】

○出穂期は、ほ場の約50%が出穂している状況のことです。穂揃期と異なります。

○アメダスの実測値及び1ヶ月予報値を基に各1kmメッシュの気温を推定し、この数値を品種ごとの生育予測モデル式に当てはめて出穂期を予測しています。（現地での確認を行いました
が、予測日の推定精度は概ね±2日以下となっています）

○あくまでも目安であり、地形、かんがい水温などのほ場条件、水管理、施肥などの栽培条件等によっては誤差がでることがあります。

【現時点での状況】

○現時点での予測では、昨年同時期の予測と比較して、

同程度～1日程度早い傾向にあります。

○ご自身のほ場の標高・移植日をご確認の上、各品種予測出穂期をご覧ください。

農試作況田での予測

		R8予測日	R8実測日	直近5年平均	備考
ひとめぼれ	5月11日移植	7月20日	7月21日	7月24日	－
コシヒカリ	5月11日移植	7月24日	7月24日	7月26日	－
コシヒカリ	5月25日移植	8月2日	8月3日	8月2日	－
星空舞	5月25日移植	8月7日		8月7日	同程度
きぬむすめ	5月25日移植	8月14日		8月14日	同程度

【ひとめぼれの予測出穂期】

標高	田植日			
	4月30日	5月10日	5月20日	5月30日
0～49m				7月30日
50～99m				7月31日
100～149m				8月1日
150～199m				8月2日
200～249m				8月2日
250～299m				8月3日
300～349m				8月4日
350～399m				8月5日
上記予測日の範囲				±2日

【コシヒカリの予測出穂期】

標高	田植日				
	4月30日	5月10日	5月20日	5月30日	6月10日
0～49m				8月4日	8月7日
50～99m				8月4日	8月8日
100～149m				8月5日	8月8日
150～199m				8月5日	8月8日
200～249m				8月6日	8月9日
250～299m				8月6日	8月9日
300～349m				8月7日	8月9日
350～399m				8月8日	8月10日
上記予測日の範囲				±2日	±2日

【星空舞の予測出穂期】

○星空舞の出穂期予測式は現在検証中ですが、「コシヒカリ」に比べて最大5日程度遅くなっています。（ご参考程度にご使用ください。）

【きぬむすめの予測出穂期】

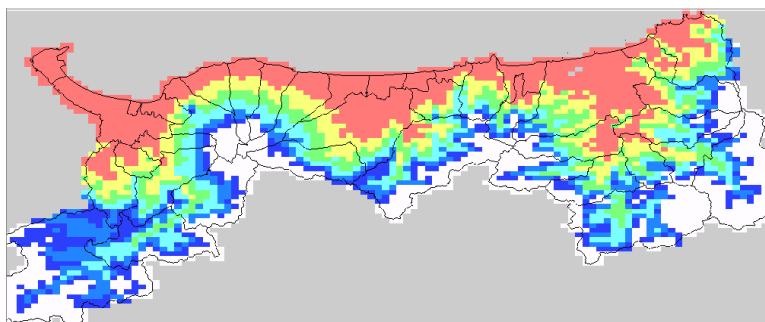
標高	田植日				
	5月10日	5月20日	5月30日	6月10日	6月20日
0～49m	8月4日	8月9日	8月15日	8月18日	8月23日
50～99m	8月5日	8月10日	8月15日	8月18日	8月23日
100～149m	8月6日	8月10日	8月16日	8月18日	8月23日
150～199m	8月6日	8月11日	8月16日	8月19日	8月24日
上記予測日の範囲	±3日	±2日	±2日	±1日	±1日

【その他】

- ・出穂期予測は、発育速度を算出する生育予測モデル式（堀江・中川1990）を参考にして出穂期予測を行っています。
- ・用いた気象データは、予測当日まではアメダス観測地点の実測、翌日～1ヶ月先までは気象庁の1ヶ月予報、1ヶ月先以降は平年値データを1kmメッシュごとに展開したデータを活用。
- ・5/10～5/30の予測は稚苗移植、6/10は中苗移植で算出。
- ・出穂期予測に必要な気象データは、農研機構と㈱ライフビジネスウェザーが共同開発し、㈱ライフビジネスウェザーが提供するメッシュ農業気象システムの気象データを用いています。
- ・出穂期を予測したいほ場の標高は、地図等で検索してください。

※詳細なデータの問い合わせについては、農業試験場 または、お近くの農業改良普及所へ。

【参考】 鳥取県内における1kmメッシュの平均標高分布図



- : 標高 0～100m未満
- : 100～200m未満
- : 200～300m未満
- : 300～400m未満
- : 400～500m未満
- : 500～600m未満
- : 600m以上